【令和７年度 目標別業務指標】

主要背景情報

| 主要背景指標 | | 計算式 | 単位 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 水道事業体のプロフィール | 構成団体 | － | － | 1県7市 | 1県7市 | 1県７市 | 1県７市 | 1県７市 |
| | 給水人口規模 | 構成団体の給水人口合計 | 人 | 4,345,970 | 4,355,585 | 4,370,212 | 4,386,549 | 4,405,417 |
| | 全職員数 | － | 人 | 80 | 83 | 79 | 80 | 80 |
| システムのプロフィール | 水源種別 | － | － | ダム放流 | ダム放流 | ダム放流 | ダム放流 | ダム放流 |
| | 浄水場数 | － | 箇所 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 計画一日最大給水量 | － | $m^3$ | 525,000 | 525,000 | 525,000 | 525,000 | 525,000 |

## A）安全で良質な水

### （１）運営管理

#### ① 水質管理

他団体平均は、計画一日最大給水量　20万$m^3$/日以上の用水供給事業体のうち、HP等で数値を公表している9団体の令和6年度の平均値を示しています。

| 業務指標名（PI番号） | 定義 | 解説 | 単位 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | 他団体平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A101 平均残留塩素濃度 | 残留塩素濃度合計／残留塩素測定回数 | 給水栓での残留塩素濃度の平均値を表す指標で、水道水の安全及び塩素臭発生に与える影響を表す指標の一つである。 | mg/L | 0.66 | 0.65 | 0.63 | 0.64 | 0.65 | 0.60 |
| A102 最大カビ臭物質濃度水質基準比率 | （最大カビ臭物質濃度／水質基準値）×100 | 給水栓におけるカビ臭物質濃度の最大値の水質基準値に対する割合を表す指標で、カビ臭対策についての取組状況を表す指標の一つである。 | % | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 17.5 |
| A103 総トリハロメタン濃度水質基準比率 | [（Σ給水栓の総トリハロメタン／給水栓数）／水質基準値]×100 | 給水栓における総トリハロメタン濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、水道水の安全性を表す指標の一つである。 | % | 17.0 | 15.0 | 18.0 | 19.0 | 17.0 | 26.7 |
| A104 有機物（TOC）濃度水質基準比率 | [（Σ給水栓の有機物濃度／給水栓数）／水質基準値]×100 | 給水栓における有機物濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、水道水の安全性を表す指標の一つである。 | % | 30.0 | 26.7 | 30.0 | 26.7 | 26.7 | 26.5 |
| A105 重金属濃度水質基準比率 | [（Σ給水栓の当該重金属濃度／給水栓数）／水質基準値]×100 | 給水栓における重金属濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、水道水の安全性を表す指標の一つである。 | % | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.9 |
| A106 無機物質濃度水質基準比率 | [（Σ給水栓の当該無機物質濃度／給水栓数）／水質基準値]×100 | 給水栓における無機物質濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、水道水の味、色など性状を表す指標の一つである。 | % | 31.2 | 32.5 | 30.8 | 28.1 | 28.8 | 21.3 |
| A107 有機化学物質濃度水質基準比率 | [（Σ給水栓の当該有機化学物質濃度／給水栓数）／水質基準値]×100 | 給水栓における有機化学物質濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、原水の汚染状況及び水道水の安全性を表す指標の一つである。 | % | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| A108 消毒副生成物濃度水質基準比率 | [（Σ給水栓の当該消毒副生成物濃度／給水栓数）／水質基準値]×100 | 給水栓における消毒副生成物濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、原水の汚染状況及び水道水の安全性を表す指標の一つである。 | % | 20.0 | 20.0 | 30.0 | 30.0 | 30.0 | 32.8 |
| A109 農薬濃度水質管理目標比 | max Σ（各定期検査時の各農薬濃度／各農薬の目標値） | 給水栓における各農薬濃度と水質管理目標値との比の合計を示すもので、水源の汚染状況及び水道水の安全性を表す指標の一つである。 | － | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.017 |

#### ② 施設管理

| 業務指標名（PI番号） | 定義 | 解説 | 単位 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | 他団体平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A201 原水水質監視度 | 原水水質監視項目数 | 水道事業体が原水水質の項目をどの程度検査しているかを示しており、水道事業体の水質管理水準を表す指標の一つである。 | 項目 | 69 | 69 | 69 | 69 | 69 | 146 |
| A203 配水池清掃実施率 | （5年間に清掃した配水池有効容量／配水池有効容量）×100 | 配水池有効容量に対する5年間に清掃した配水池有効容量の割合を示すもので、安全で良質な水への取組み度合いを表す指標である。 | % | 97.9 | 42.4 | 42.4 | 43.5 | 31.8 | 51.6 |

## A）安全で良質な水

### （１）運営管理

#### ③ 事故災害対策

| 業務指標名（PI番号） | 定義 | 解説 | 単位 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | 他団体平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A301 水源の水質事故数 | 年間水源水質事故件数 | 1年間における水源の水質事故件数を示すもので、水源の突発的水質異常のリスクがどれだけあるかを示す指標の一つである。 | 件 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| A302 粉末活性炭処理比率 | （粉末活性炭年間処理水量／年間浄水量）×100 | 年間浄水処理量に対する粉末活性炭年間処理水量の割合を示すもので、原水の汚染状況、水質事故などに対する対応を表す指標の一つである。 | % | 4.9 | 9.0 | 9.6 | 8.8 | 43.0 | 28.4 |

## B）安定した水の供給

### （１）運営管理

#### ① 施設管理

| 業務指標名（PI番号） | 定義 | 解説 | 単位 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | 他団体平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| B104 施設利用率 | （一日平均配水量／施設能力）×100 | 施設能力に対する一日平均配水量の割合を示すもので、水道施設の効率性を表す指標の一つである。 | % | 83.2 | 83.3 | 84.7 | 85.6 | 88.0 | 63.8 |
| B105 最大稼働率 | （一日最大配水量／施設能力）×100 | 施設能力に対する一日最大配水量の割合を示すもので、水道施設の効率性を表す指標の一つである。 | % | 89.8 | 90.2 | 91.0 | 91.4 | 91.4 | 69.1 |
| B106 負荷率 | （一日平均配水量／一日最大配水量）×100 | 一日最大配水量に対する一日平均配水量の割合を示すもので、水道施設の効率性を表す指標の一つである。 | % | 92.7 | 92.3 | 93.0 | 93.6 | 96.3 | 92.1 |
| B108 管路点検率 | （点検した管路延長／管路延長）×100 | 管路延長に対する1年間で点検した管路延長の割合を示すもので、管路の健全性確保に対する執行度合いを表す指標の一つである。 | % | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 87.1 |
| B109 バルブ点検率 | （点検したバルブ数／バルブ設置数）×100 | バルブ設置数に対する1年間に点検したバルブ数の割合を示すもので、管路の健全性確保に対する執行度合いを表す指標の一つである。 | % | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 58.5 |
| B113 配水池貯留能力 | 配水池有効容量／一日平均配水量 | 一日平均配水量に対する配水池有効容量の割合を示すもので、給水に対する安定性を表す指標の一つである。 | 日 | 0.26 | 0.26 | 0.25 | 0.25 | 0.24 | 0.43 |
| B117 設備点検実施率 | （点検機器数／機械･電気･計装機器の合計数）×100 | 機械･電気･計装機器の合計数に対する点検機器数の割合を示すもので、設備の健全性確保に対する点検割合を表す指標の一つである。 | % | 77.8 | 76.6 | ※ 96.4 | 95.7 | 95.5 | 80.3 |

※点検機器の区分見直しによる増

## B）安定した水の供給

### （1）運営管理

#### ② 事故災害対策

| 業務指標名（PI番号） | 定義 | 解説 | 単位 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | 他団体平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| B201 浄水場事故割合 | 10年間の浄水場停止事故件数／浄水場数 | 直近10年間に浄水場が事故で停止した件数を一浄水場当たりの割合として示すものであり、施設の信頼性を表す指標の一つである。 | 件/10年・箇所 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 1.34 |
| B204 管路の事故割合 | 管路の事故件数／（管路延長／100） | 1年間における導･送･配水管路の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、管路の健全性を表す指標の一つである。 | 件/100km | 0.0 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 0.8 | 0.3 |
| B205 基幹管路の事故割合 | 基幹管路の事故件数／（基幹管路延長／100） | 1年間における基幹管路の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、基幹管路の健全性を表す指標の一つである。 | 件/100km | 0.0 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 0.8 | 0.3 |
| B206 鉄製管路の事故割合 | 鉄製管路の事故件数／（鉄製管路延長／100） | 1年間における鉄製導･送･配水管路の事故件数を100km当たりの件数に換算したものであり、鉄製管路の健全性を表す指標の一つである。 | 件/100km | 0.0 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 0.8 | 0.3 |
| B207 非鉄製管路の事故割合 | 非鉄製管路の事故件数／（非鉄製管路延長／100） | 1年間における非鉄製導･送･配水管路の事故件数を100km当たりの件数に換算したものであり、非鉄製管路の健全性を表す指標の一つである。 | 件/100km | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| B210 災害対策訓練実施回数 | 年間の災害対策訓練実施回数<br>対象となる訓練　～R4 地震のみ<br>R5～ 地震、風水害,施設事故<br>水質事故、合同訓練等 | 1年間に災害対策訓練を実施した回数を示すもので、自然災害に対する危機対応性を表す指標の一つである。 | 回/年 | 1 | 1 | 27 | 31 | 32 | 25 |

#### ③ 環境対策

| 業務指標名（PI番号） | 定義 | 解説 | 単位 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | 他団体平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| B301 配水量1㎥当たり電力消費量 | 電力使用量の合計／年間配水量 | 配水量1㎥当たりの電力使用量を示すもので、省エネルギー対策への取組み度合いを表す指標の一つである。 | kWh/㎥ | 0.38 | 0.38 | 0.37 | 0.37 | 0.36 | 0.41 |
| B302 配水量1㎥当たり消費エネルギー | エネルギー消費量／年間配水量 | 配水量当たりの消費エネルギー量の割合を示すもので、省エネルギー対策への取組み度合いを表す指標の一つである。 | MJ/㎥ | 3.67 | 3.67 | 3.61 | 3.20 | 3.10 | 2.93 |
| B303 配水量1㎥当たり二酸化炭素（CO2）排出量 | （二酸化炭素(CO2)排出量／年間配水量）×$10^6$ | 年間配水量に対する総二酸化炭素（CO2）排出量であり、環境保全への取組み度合いを表す指標の一つである。 | g･CO2/㎥ | 180 | 166 | 171 | 160 | 162 | 199 |
| B305 浄水発生土の有効利用率 | （有効利用土量／浄水発生土量）×100 | 浄水発生土量に対する有効利用土量の割合を示すもので、環境保全への取組み度合いを表す指標の一つである。 | % | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 91.0 |
| B306 建設副産物のリサイクル率 | （リサイクルされた建設副産物量／建設副産物発生量）×100 | 水道事業における工事などで発生する建設副産物のうち、リサイクルされた建設副産物量の割合を示すもので、環境保全への取組み度合いを表す指標の一つである。 | % | 100.0 | 99.7 | 99.9 | 100.0 | 100.0 | 88.2 |

## B）安定した水の供給

### （２）施設整備

#### ① 施設管理

| 業務指標名（PI番号） | 定義 | 解説 | 単位 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | 他団体平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| B401 ダクタイル鋳鉄管・鋼管率 | [（ダクタイル鋳鉄管延長＋鋼管延長）／管路延長] × 100 | 全管路延長に対するダクタイル鋳鉄管･鋼管の割合を示すもので、管路の母材強度に視点を当てた指標の一つである。 | % | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 98.9 |
| B402 管路の新設率 | （新設管路延長／管路延長）× 100 | 管路延長に対する1年間に新設した管路延長の割合を示すもので、管路整備度合いを表す指標の一つである。 | % | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 4.05 | 0.00 | 0.45 |

#### ② 施設更新

| 業務指標名（PI番号） | 定義 | 解説 | 単位 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | 他団体平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| B501 法定耐用年数超過浄水施設率 | （法定耐用年数を超えている浄水施設能力／全浄水施設能力）× 100 | 全浄水施設能力に対する法定耐用年数を超過した浄水施設の浄水能力の割合を示すもので、施設の老朽度及び更新の取組状況を表す指標の一つである。 | % | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.3 |
| B502 法定耐用年数超過設備率 | （法定耐用年数を超えている機械･電気･計装設備などの合計数／機械･電気･計装設備などの合計数）× 100 | 水道施設の設置されている機械･電気･計装設備の機器合計数に対する法定耐用年数を超えている機器数の割合を示すものであり、機器の老朽度、更新の取組状況を表す指標の一つである。 | % | 41.7 | 40.3 | 32.7 | 31.2 | 32.4 | 51.8 |
| B503 法定耐用年数超過管路率 | （法定耐用年数を超えている管路延長／管路延長）× 100 | 管路の延長に対する法定耐用年数を超えている管路の割合を示すものであり、管路の老朽度、更新の取組状況を表す指標の一つである。 | % | 83.2 | 83.2 | 82.7 | 79.3 | 80.1 | 43.3 |
| B504 管路の更新率 | （更新された管路延長／管路延長）× 100 | 管路の延長に対する更新された管路延長の割合を示すもので、信頼性確保のための管路更新の執行度合いを表す指標の一つである。 | % | 0.00 | 0.00 | 0.50 | 0.00 | 0.00 | 0.09 |
| B505 管路の更生率 | （更生された管路延長／管路延長）× 100 | 管路の延長に対する更生を行った管路の割合を示すもので、信頼性確保のための管路維持の執行度合いを表す指標の一つである。 | % | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 |

#### ③ 事故災害対策

| 業務指標名（PI番号） | 定義 | 解説 | 単位 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | 他団体平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| B602 浄水施設の耐震化率 | （耐震対策の施された浄水施設能力／全浄水施設能力）× 100 | 全浄水施設能力に対する耐震対策が施されている浄水施設能力の割合を示すもので、地震災害に対する浄水処理機能の信頼性･安全性を表す指標の一つである。 | % | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 78.1 |
| B602-2 浄水施設の主要構造物耐震化率 | [（沈でん･ろ過を有する施設の耐震化浄水施設能力＋ろ過のみ施設の耐震化浄水施設能力）／全浄水施設能力] × 100 | 浄水施設のうち主要構造物である、沈でん池及びろ過池に対する耐震対策が施されている割合を示すもので、浄水施設の耐震化率の進捗を表す指標である。 | % | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 76.2 |
| B603 ポンプ所の耐震化率 | （耐震対策の施されたポンプ所能力／耐震化対象ポンプ所能力）× 100 | 耐震化ポンプ所能力に対する耐震対策が施されたポンプ所能力の割合を示すもので、地震災害に対するポンプ施設の信頼性･安全性を表す指標の一つである。 | % | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 96.5 |

## B）安定した水の供給

### （２）施設整備

#### ③ 事故災害対策

| 業務指標名（PI番号） | 定義 | 解説 | 単位 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | 他団体平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| B604 配水池の耐震化率 | （耐震対策の施された配水池有効容量／配水池有効容量）×100 | 全配水池容量に対する耐震対策が施された配水池の容量の割合を示すもので、地震災害に対する配水池の信頼性･安全性を表す指標の一つである。 | % | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 88.1 |
| B605 管路の耐震管率 | （耐震管延長／管路延長）×100 | 導･送･排水管（配水支管を含む）全ての管路の延長に対する耐震管の延長の割合を示すもので、地震災害に対する水道管路網の安全性、信頼性を表す指標の一つである。 | % | 25.4 | 25.4 | 25.9 | 28.9 | 28.9 | 50.7 |
| B606 基幹管路の耐震管率 | （基幹管路のうち耐震管延長／基幹管路延長）×100 | 基幹管路の延長に対する耐震管の延長の割合を示すものであり、地震災害に対する基幹管路の安全性、信頼性を表す指標の一つである。 | % | 25.4 | 25.4 | 25.9 | 28.9 | 28.9 | 51.5 |
| B606-2 基幹管路の耐震適合率 | （基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長／基幹管路延長）×100 | 基幹管路の延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示すもので、基幹管路の耐震管率を補足する指標である。 | % | 91.4 | 91.4 | 91.7 | 92.0 | 92.0 | 75.5 |
| B608 停電時配水量確保率 | （全施設停電時に確保できる配水能力／一日平均配水量）×100 | 一日平均配水量に対する全施設が停電した場合に確保できる配水能力の割合を示すものであり、災害時･広域停電時における危機対応性を表す指標の一つである。 | % | 60.1 | 60.0 | 59.0 | 58.4 | 56.8 | 63.9 |
| B609 薬品備蓄日数 | 平均薬品貯蔵量／一日平均使用量<br>（注）凝集剤又は塩素剤のうち小さい方を採用 | 浄水場で使う薬品の平均貯蔵量に対する一日平均使用量の割合を示すもので、災害に対する危機対応力を表す指標の一つである。 | 日 | 35.4 | 33.4 | 25.5 | 31.5 | 27.0 | 25.4 |
| B610 燃料備蓄日数 | 平均燃料貯蔵量／一日燃料使用量 | 停電時においても自家発電設備で浄水場の稼働を継続できる日数を示すもので、災害時の対応性を表す指標の一つである。 | 日 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 2.0 |

## C）健全な事業経営

### （１）財務

#### ① 健全経営

| 業務指標名（PI番号） | 定義 | 解説 | 単位 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | 他団体平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| C101 営業収支比率 | [（営業収益－受託工事収益）／（営業費用－受託工事費）]×100 | 営業収益の営業費用に対する割合を示すもので、水道事業の収益性を表す指標の一つである。 | % | 120.1 | 105.6 | 106.8 | 104.8 | 101.9 | 102.9 |
| C102 経常収支比率 | [（営業収益＋営業外収益）／（営業費用＋営業外費用）]×100 | 経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すもので、水道事業の収益性を表す指標の一つである。 | % | 119.8 | 106.3 | 108.1 | 106.2 | 103.3 | 106.2 |
| C103 総収支比率 | （総収益／総費用）×100 | 総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示すもので、水道事業の収益性を表す指標の一つである。 | % | 119.8 | 106.3 | 107.5 | 106.0 | 103.3 | 107.6 |
| C104 累積欠損金比率 | [累積欠損金／（営業収益－受託工事収益）]×100 | 受託工事収益を除く営業収益に対する累積欠損金の割合を示すもので、水道事業経営の健全性を表す指標の一つである。 | % | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

## C）健全な事業経営

### （１）財務

#### ① 健全経営

| 業務指標名（PI番号） | 定義 | 解説 | 単位 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | 他団体平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| C105 繰入金比率（収益的収入分） | （損益勘定繰入金／収益的収入）×100 | 収益的収入に対する損益勘定繰入金の依存度を示しており、事業の経営状況を表す指標の一つである。 | % | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 |
| C106 繰入金比率（資本的収入分） | （資本勘定繰入金／資本的収入）×100 | 資本的収入に対する資本勘定繰入金の依存度を示しており、事業の経営状況を表す指標の一つである。 | % | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 26.8 |
| C107 職員一人当たり給水収益 | 給水収益／損益勘定所属職員数 | 損益勘定職員一人当たりの給水収益を示すもので、水道事業における生産性について給水収益を基準として把握するための指標の一つである。 | 千円/人 | 159,442<br>(139,758) | 154,973<br>(137,964) | 164,788<br>(147,667) | 162,252<br>(147,502) | 160,767<br>(146,340) | 114,940 |
| C108 給水収益に対する職員給与費の割合 | （職員給与費／給水収益）×100 | 給水収益に対する職員給与費の割合を示すもので、水道事業の収益性を表す指標の一つである。 | % | 5.7 | 5.5 | 5.3 | 5.6 | 5.7 | 7.8 |
| C109 給水収益に対する企業債利息の割合 | （企業債利息／給水収益）×100 | 給水収益に対する企業債利息の割合を示すもので、水道事業の効率性及び財務安全性を表す指標の一つである。 | % | 4.5 | 4.1 | 3.6 | 3.3 | 3.4 | 2.7 |
| C110 給水収益に対する減価償却費の割合 | （減価償却費／給水収益）×100 | 給水収益に対する減価償却費の割合を示すもので、水道事業の収益性を表す指標の一つである。 | % | 45.1 | 45.4 | 45.4 | 47.7 | 51.7 | 51.6 |
| C111 給水収益に対する建設改良のための企業債償還元金の割合 | （建設改良のための企業債償還元金／給水収益）×100 | 給水収益に対する建設改良のための企業債償還元金の割合を示すもので、建設改良のための企業債元金が経営に及ぼす影響を表す指標の一つである。 | % | 20.5 | 19.4 | 18.3 | 17.9 | 16.5 | 24.4 |
| C112 給水収益に対する企業債残高の割合 | （企業債残高／給水収益）×100 | 給水収益に対する企業債残高の割合を示すもので、企業債残高が規模及び経営に及ぼす影響を表す指標の一つである。 | % | 224.5 | 213.5 | 206.4 | 197.9 | 180.7 | 221.2 |
| C113 料金回収率 | （供給単価／給水原価）×100 | 給水原価に対する供給単価の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表す指標の一つである。 | % | 120.4 | 106.2 | 107.8 | 106.2 | 102.8 | 107.4 |
| C114 供給単価 | 給水収益／年間総有収水量 | 有収水量1㎥当たりの給水収益の割合を示すもので、水道事業でどれだけの収益を得ているかを表す指標の一つである。 | 円/㎥ | 68.5 | 68.8 | 67.9 | 67.3 | 65.9 | 83.2 |
| C115 給水原価 | [経常費用－（受託工事費＋材料及び不用品売却原価＋附帯事業費＋長期前受金戻入）]／年間有収水量 | 有収水量1㎥当たりの経常費用（受託工事費を除く）の割合を示すもので、水道事業でどれだけの費用がかかっているかを表す指標の一つである。 | 円/㎥ | 56.9 | 64.8 | 63.0 | 63.4 | 64.1 | 77.6 |
| C118 流動比率 | （流動資産／流動負債）×100 | 流動負債に対する流動資産の割合を示すものであり、事業の財務安全性を表す指標の一つである。 | % | 286.0 | 283.7 | 138.8 | 140.3 | 205.7 | 278.2 |

※（　）内数値は、パートタイム会計年度任用職員及び再任用短時間勤務職員数を含んだ算出数値

## C）健全な事業経営

### （１）財務

#### ① 健全経営

| 業務指標名（PI番号） | 定義 | 解説 | 単位 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | 他団体平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| C119 自己資本構成比率 | [(資本金＋剰余金＋評価差額など＋繰延収益)／負債･資本合計]×100 | 総資本(負債及び資本)に対する自己資本の割合を示しており、財務の健全性を表す指標の一つである。 | % | 78.6 | 79.9 | 77.1 | 80.3 | 81.6 | 78.4 |
| C120 固定比率 | [固定資産／(資本金＋剰余金＋評価差額など＋繰延収益)]×100 | 自己資本に対する固定資産の割合を示すものであり、財務の安定性を表す指標の一つである。 | % | 114.2 | 114.9 | 117.5 | 118.3 | 113.8 | 116.3 |
| C121 企業債償還元金対減価償却費比率 | [建設改良のための企業債償還元金／(当年度減価償却費－長期前受金戻入)]×100 | 当年度減価償却費に対する企業債償還元金の割利を示すもので、投下資本の回収と再投資との間のバランスを見る指標である。 | % | 51.3 | 47.9 | 45.3 | 41.7 | 35.0 | 59.5 |
| C122 固定資産回転率 | (営業収益－受託工事収益)／[(期首固定資産+期末固定資産)／2] | 固定資産(年度平均)に対する営業収益の割合を示すものであり、1年間に固定資産額の何倍の営業収益があったかを示す指標である。 | 回 | 0.10 | 0.09 | 0.09 | 0.09 | 0.09 | 0.10 |
| C123 固定資産使用効率 | 年間配水量／有形固定資産 | 有形固定資産に対する年間総配水量の割合を示すものであり、施設の使用効率を表す指標の一つである。 | ㎥/万円 | 18.3 | 18.0 | 17.7 | 17.5 | 18.8 | 15.7 |
| C124 職員一人当たり有収水量 | 年間総有収水量／損益勘定所属職員数 | 1年間における損益勘定職員一人当たりの有収水量を示すもので、水道サービスの効率性を表す指標の一つである。 | ㎥/人 | 2,326,000<br>(2,039,000) | 2,253,000<br>(2,005,000) | 2,428,000<br>(2,176,000) | 2,412,000<br>(2,192,000) | 2,440,000<br>(2,221,000) | 1,662,333 |

※（　）内数値は、パートタイム会計年度任用職員及び再任用短時間勤務職員数を含んだ算出数値

### （２）組織・人材

#### ① 人材育成

| 業務指標名（PI番号） | 定義 | 解説 | 単位 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | 他団体平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| C201 水道技術に関する資格取得度 | 職員が取得している水道技術に関する資格数／全職員数 | 職員が取得している水道技術に関する資格数の全職員に対する割合を示すものである。 | 件/人 | 3.45<br>(3.07) | 3.39<br>(3.05) | 3.46<br>(3.14) | 3.46<br>(3.18) | 3.43<br>(3.15) | 3.39 |
| C202 外部研修時間 | (職員が外部研修を受けた時間×受講人数)／全職員数 | 職員一人当たりの外部研修の受講時間を表すもので、技術継承及び技術向上への取組状況を表す指標の一つである。 | 時間/人 | 13.1<br>(11.7) | 12.1<br>(10.9) | 10.5<br>(9.6) | 11.7<br>(10.7) | 10.4<br>(9.6) | 5.5 |
| C203 内部研修時間 | (職員が内部研修を受けた時間×受講人数)／全職員数 | 職員一人当たりの内部研修の受講時間を表すもので、技術継承及び技術向上への取組状況を表す指標の一つである。 | 時間/人 | 11.6<br>(10.3) | 10.7<br>(9.6) | 16.0<br>(14.5) | 10.2<br>(9.3) | 10.6<br>(9.7) | 12.0 |
| C204 技術職員率 | (技術職員数／全職員数)×100 | 全職員数に対する技術職員の割合を示すもので、技術面での維持管理体制を表す指標の一つである。 | % | 68.8<br>(62.2) | 66.3<br>(60.9) | 64.6<br>(58.6) | 67.5<br>(62.1) | 67.5<br>(62.1) | 74.7 |
| C205 水道業務平均経験年数 | 職員の水道業務経験年数／全職員数 | 全職員の水道業務平均経験年数を表すもので、人的資源としての専門技術の蓄積度合いを表す指標の一つである。 | 年/人 | 18.4<br>(16.4) | 18.2<br>(16.4) | 18.9<br>(17.1) | 18.9<br>(17.4) | 18.3<br>(16.8) | 14.1 |

※（　）内数値は、パートタイム会計年度任用職員及び再任用短時間勤務職員数を含んだ算出数値

## C）健全な事業経営

### （2）組織・人材

#### ② 業務委託

| 業務指標名（PI番号） | 定義 | 解説 | 単位 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | 他団体平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| C302 浄水場第三者委託率 | （第三者委託した浄水場の浄水施設能力／全浄水施設能力）×100 | 全浄水場の浄水施設能力のうち、第三者委託している浄水場の浄水施設能力の割合を示すもので、第三者委託の導入状況を表す指標の一つである。 | % | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 7.2 |

### （3）お客さまとのコミュニケーション

#### ① 情報提供

| 業務指標名（PI番号） | 定義 | 解説 | 単位 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | 他団体平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| C402 インターネットによる情報の提供度 | ウェブページへの掲載回数 | インターネット（ウェブページ）による水道事業の情報発信回数を表すもので、お客さまへの事業内容公開度合いを表す指標の一つである。 | 回 | 133 | 162 | 139 | 130 | 144 | 271 |
| C403 水道施設見学者割合 | 見学者数／（現在給水人口／1000） | 給水人口に対する水道施設見学者の割合を示すもので、お客さまとの双方向コミュニケーションの推進度合いを表す指標の一つである。 | 人/千人 | 0.00 | 0.00 | 0.06 | 0.06 | 1.55 | 5.35 |